

2025年度 第1回

緩和ケア事例検討会

(仮題) コミュニケーションの極意 – 悪い知らせを聞きたくない患者 –

9.23 TUE.

10:00—13:00

講師プロフィール

広島県公立大学法人 県立広島大学
保健福祉学部 保健福祉学科 人間福祉学コース

准教授 大下 由美 先生 Oshita Yumi PhD in Human Health Science and Welfare

山口県立大学で博士（健康福祉学）を取得後、2004年から県立広島大学保健福祉学部講師、2007年から現職。臨床心理学・社会福祉学の専門家として、地域、家族内等で生じる様々な解決困難な問題を、日常のコミュニケーション過程を活用して短期に解決していく包括的支援論について、理論的、技術的、そして臨床での効果測定の研究の第一線で活躍。主な著書は「Minimalist Social Workが描き出す次の世界像」、「コミュニケーション：ケア実践と課題解決ネットワークの生成」など。社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士、公認心理師、保育士、介護福祉士。（県立広島大学のウェブサイトより抜粋、改変）

会 場

市立三次中央病院
健診センター 2階 講堂
三次市東酒屋町10531番地

申込方法

お名前（ふりがな）、ご職業、ご所属をご記入のうえ、
9月19日（金）17時迄にメールでお申し込みください。
メール受信を制限されている方は、city.miyoshi.hiroshima.jp
のドメインから送信されるメールを受信できるように設定
してください。

kanwacc@city.miyoshi.hiroshima.jp

講座内容

病状を全て知りたい患者、やんわりとだけ知りたい患者、全く知りたくない患者——ひとりひとり、さまざまな想いがあります。病状を知りたくない、聞きたくないと言われたとき、どのように関わればよいのでしょうか。

今回は、県立広島大学の大下由美先生をお招きし、AYAがんの事例を通して、コミュニケーションの極意を解説していただきます。

定 員

40名

市立三次中央病院 緩和ケアセンター

〒728-8502 三次市東酒屋町10531番地

TEL : 0824-65-0101 (代)

FAX : 0824-65-0159
mail : kanwacc@city.miyoshi.hiroshima.jp

※ 取得した個人情報は、当研修会に関する連絡、当研修会の企画運営、および統計処理のために利用します。
ご本人様の同意なく第三者に情報を提供することは、一切ございません。